

2006 年度

科目名 宗教学	対象学科・学年 薬学部薬学1回生	担当者 貫名 譲
授業テーマ 宗教の特徴と、親鸞の仏教思想		
授業の概要と目標 私たちが生きていく上において「宗教」はどう関わりがあるのでしょうか。「必ずしも必要ない」と思う人も多いはずですが。ところが私たちは、状況に応じて仏教・神道・キリスト教を使い分けています。見方を変えれば、それだけ私たちの生活と密接な関わりを持ったものといえます。そこで、日本における宗教と人との関わりを、大乘仏教の思想と親鸞の生き様を通して考えていきたいと思います。それはまた他でもない、「大谷」の精神を探究することにもなるはずです。		
評価方法 筆記試験（60％）、出席状況・授業態度（40％）、総合評価で行います。		
テキスト 経験論の宗教学	著者 荻野 勝行 貫名 譲	出版社 杉山書店
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. はじめに ～「宗教学」の授業を始めるにあたって～ 2. 「宗教」の特性 ～宗教の種類と発生の仕方～ 3. 「宗教」の歴史と、現代的意義 ～世界三大宗教とバイオエシックス～ 4. 仏教の誕生 ～釈尊（ゴータマ・シッダールタ）の生き様～ 5. 仏教の思想 ～縁起と中道・大乘仏教の誕生～ 6. 日本仏教の起こり ～聖徳太子のめざしたもの～ 7. 奈良・平安時代の仏教 ～仏教教団の理想と現実～ 8. 鎌倉新仏教 ～仏教の改革に燃えた熱き人たち～ 9. 親鸞の生き様 ～「よろこび」と「かなしみ」～ 10. 親鸞の思想① ～阿弥陀仏とはどのような仏？～ 11. 親鸞の思想② ～悪人親鸞～ 12. 親鸞の思想③ ～念仏？ 信心？～ 13. 親鸞の思想④ ～私もあなたも同じなかま～ 14. まとめ 15. 筆記試験		